令和７年度　戸田小中一貫学校　グランドデザイン

【地域の財産】
- ○豊かな自然
- ○戸田のひと・もの・こと
- ○今を支える歴史
- ○園小中交流

【保護者・地域の課題と願い】
- ◎少子化の中でも夢の実現に向けて必要な学力を身につけて欲しい。
- ◎何事にも臆せずに挑戦し、やり抜く心を育んで欲しい
- ◎いつまでも戸田を愛する気持ちを持ち続けて欲しい。
- ◎安心・安全な学校生活を過ごして欲しい。

【国・県・市の動き】
- 国○生きる力
- 県○有徳の人
- 市○貴き志を持つ人（沼津大志学習）

学校教育目標「志をもち　ふるさとから未来をつくる人」

大志を抱いて
＜夢＞

いざ大海へ
＜社会性＞

そして母港へ
＜郷土愛＞

学校経営目標
望ましいキャリア発達の促進

アントレプレナーシップ教育

キャリア教育サイト「あしたね」

へだ号

戸田大志学習（戸田小中一貫学校 キャリア教育）

【DO】

【高等部（８年・９年）】

志の具現化を目指して、挑戦する

- 学び続ける意欲を持ち、将来設計を考えて、自分が納得できる進路を選択する。
- 違いを受け入れ、より良い自分を目指す。
- 校外との関わりを通し、広い視野を持つ。
- 様々な場面で集団をリードする。
- 地域への愛着を持ち、ふるさとに貢献する。

【中等部（５年・６年・７年）】

実践や交流を通して、自他の良さを認め合う

- 自分を信じ、自分ならできるという多くの経験を積み、自己有用感を持つ。
- 自分と違う立場や他者の考えを受け入れる。
- 人との関わりから地域の文化・歴史・災害を学び、他地域との比較・交流を通して、ふるさとの良さを自ら進んで発信する。
- 委員会活動などに積極的に取り組み、役割を果たす。

【初等部（１年・２年・３年・４年）】

ひと・もの・こととの関わり、つながりを通して、夢をもち、自他の良さを知る

- 自分の良さに気づき、ありのままの自分を認める。
- 友達の良さを認め、仲良く遊ぶ。
- 身近な人との触れ合いを通して、将来の夢やあこがれを抱く。
- 自然や美しいものに触れ、感動する心を持つ。
- 園や他校との関わりから、多様な考えや社会性を育む。
- 時間や決まりを守り、自分の仕事をやり遂げる。
- 基本的な学習習慣を身につけ、確実な読み・書き・計算の定着を図る。

【CHECK】

・授業がわかる	90%	・進んで学習	90%
・学校が楽しい	90%	・挨拶ができる	95%
・人の役に立った	90%	・将来の夢	90%
・戸田を誇りに思う	90%	・命を守る意識	100%

・教育相談体制ができている 95%

【ACTION】
- ・学校評価アンケート・評価会議・学校運営協議会 等
- ・各種たより・ＨＰ・各説明会等による発信 ⇒ PLAN へ

【PLAN】

①　「自ら」学び続ける子供（知）
- 誰一人取り残すことのない個に応じた適切な学習支援
- ICT の効果的活用（個別最適・協働的・Web）
- 自主的な家庭学習、読書活動の充実と日常化
- 聴く姿勢、相手を意識して表現する力の育成
- 「聴く」「話す」「読む」「書く」の活動が効果的に機能する授業

【1-1-1(1)(2)】【1-2-4(2)】

②思いやりの心で「自ら」関わる子供（徳）
- 挨拶と温かな言葉遣いの励行
- 良さや頑張りを認め合う場の設定
- 道徳教育目標を見据えた心を揺さぶる計画的な授業実践
- 園小中、地域、他校等との交流
- 自治会による「はあと班」活動の充実

【1-2-1(1,2,3)】【1-2-3(1)】【1-2-4(1,3)】
【2-1-1(1)】【2-2-2(2)】

③「自ら」心身を大切にする子供（体）
- 教育相談体制の充実
- 年間を通した健康な体づくりの計画
- 防災、防犯、安全に対する意識の高揚を図ることができる具体的な想定による行事の実施（地域と連携した避難訓練 等）

【1-2-2(1,2,3)】【1-3-1(1)】

研修テーマ

「自ら発進・発信できる子供の育成」
～思考のズレを生む学習課題と子供の出番づくりを通して～

道徳教育目標

「豊かな関わりを通して、道徳的判断力・道徳的心情・実践意欲と態度を育てる」
（人間関係の構築、内省力、多面的な思考、自己の生き方の考察）